NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞を身近なものに～情報活用能力や問題解決能力の育成を目指して～

2．学校名

静岡県浜松市立雄踏中学校

3．実践者名（代表者名）

小澤　義則

4．学年

第1、2、3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語、社会、美術、道徳、学活　256人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞を活用して、自己表現力を高めよう

7．目標（狙い）

・新聞を読むことで、新聞を身近なものとしていく
・自分自身でテーマを設定し、テーマに基づいて新聞作りを行う

8．評価の視点

・自分の考えを自分なりの言葉で表現することができたか。
・収集した新聞を元に、テーマに沿った新聞作りを行うことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

・前期選択授業　10時間　　・後期選択授業　10時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

・授業概要の説明、新聞の読み方(2時間)
・テーマの決定とテーマに沿った記事集め(4時間)
・新聞切り抜き作品の制作(10時間)
・発表会準備(2時間)
・発表会、反省(2時間)
(留意点)
・テーマに基づいた新聞記事を選定させる
・「見出し」に基づいた文章表現で相手に伝えたいことを的確に伝える
・それぞれの新聞社によって、同じテーマの記事でも表現の違いによって、相手への伝わり方に違いがあることにふれる

11．児童・生徒の反応、感想・意見

生徒の感想について
　新聞の中から、テーマに基づいて福祉の記事を探していくことを行いました。どれも人を助けたいという記事や人の役に立ちたいという記事でした。新聞は、このような頑張りを伝えてくれるすごいものです。

12．成果と課題

・新聞を活用して様々な活動を行うことは、資料の読み取りや活用の能力等が高まり、表現力が身についたといえよう。それ以上に、今の社会と直接結びついた、生きた学習が行えたという点で効果は大きかったといえる。また、教師自身が、新聞を教材として捉え、常に意識しながら目を向けるようになったことは大きな変化であり、子どもの学びを支えることにつながったといえる。しかし、推進校ということで、年間7社の新聞を提供していただいたが、短い期間に集中して届けられる中で、もっとうまく生かすことができたのではないかという課題も浮き彫りになった。